



今日から俺が
カノジョです！

かんぱーい！

アッ

ようやく
プロジェクトが終わって
一息つけますね

道里 凛々花
みちさと りんりか
大友商事に入って2年目のOL

ああ……一時は
どうなることかと
思ったが

崇明の提案が
お客さんに刺さって
良かったよ

山口 塁
やまぐち るい
大友商事係長

賀茂 崇明
かも たかあき
新入社員時代からの
塁の部下

いや、アレはいつも
山口係長が仰って
いたことでしたから
口をついて
出てきた感じで

とにかく、
これで一段落だ

ところで、
崇明から何か報告したい
ことがある、とか……

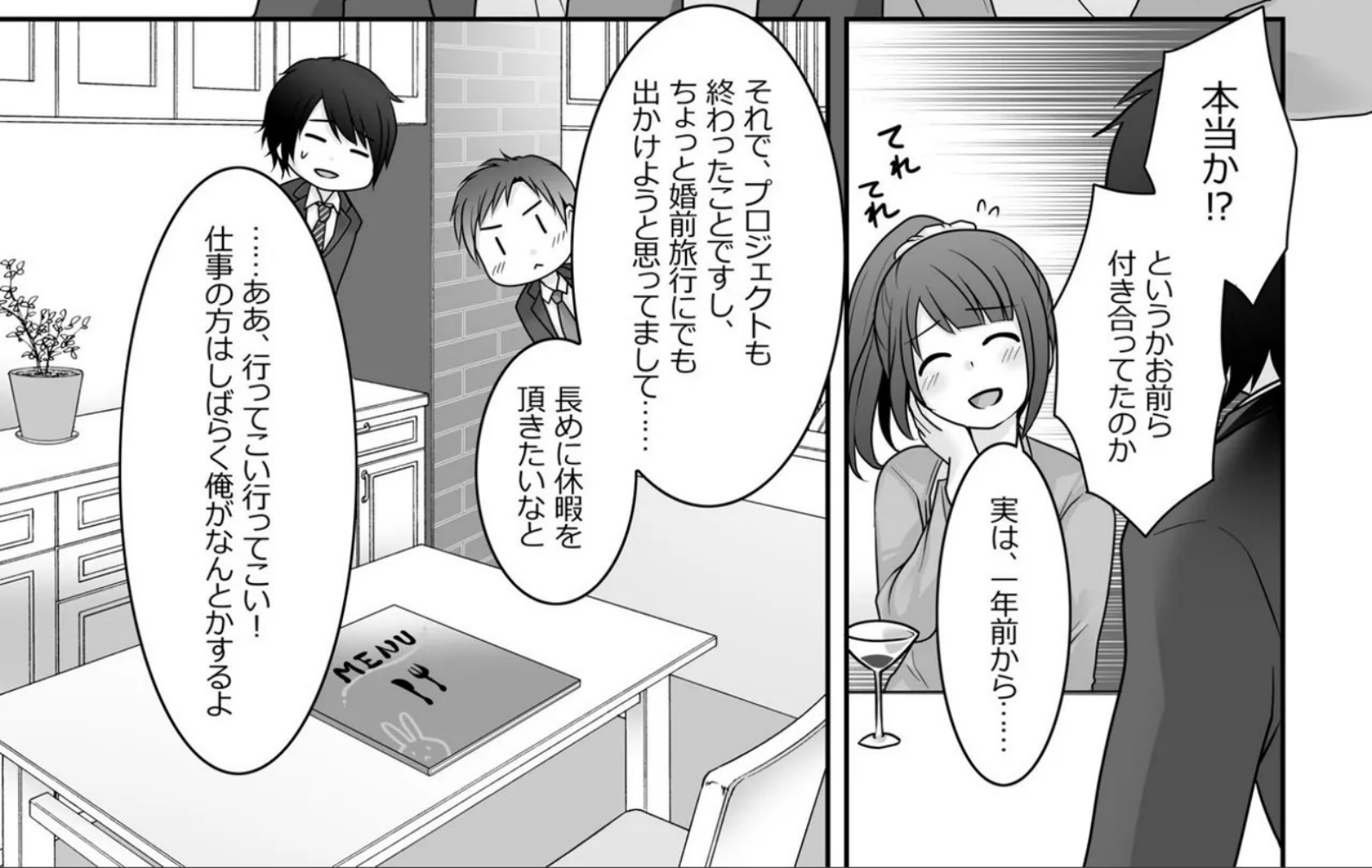




実は僕たち、
今度結婚する事にな
りまして

ああ、
そのことなんです

!?



……ああ、行ってこい行ってこい！
仕事の方はしばらく俺がなんとかするよ

長めに休暇を
頂きたいなと

それで、プロジェクトも
終わったことですし、
ちよつと婚前旅行にでも
出かけようと思つてまして……

本当か!?

といつかお前ら
付き合ってたのか

実は、一年前から……





実は、俺の家系は代々
「魔術師」の才能を持つている

俺も例外ではない

俺の能力は
「身体の入替え」と
「精神操作」

「身体の入替え」は文字通り、
俺と誰かの身体を
入れ替えることができる



……

もう、
使うしかないか……



そして「精神操作」
言い換えれば
「思い込ませ」の魔術だ

通常であれば
元に戻るのが前提だが……

今回は……
戻らないことになるな

そうと決まれば……



ニヤ……

へえー

ここが
係長の家なんです

すまないね、
わざわざ来てもらって

全然！

それよりすみません、
私達のためにプレゼントまで
用意していただくなんて

なに、大切な部下の
結婚だからね、
当然さ

きょう

きょう

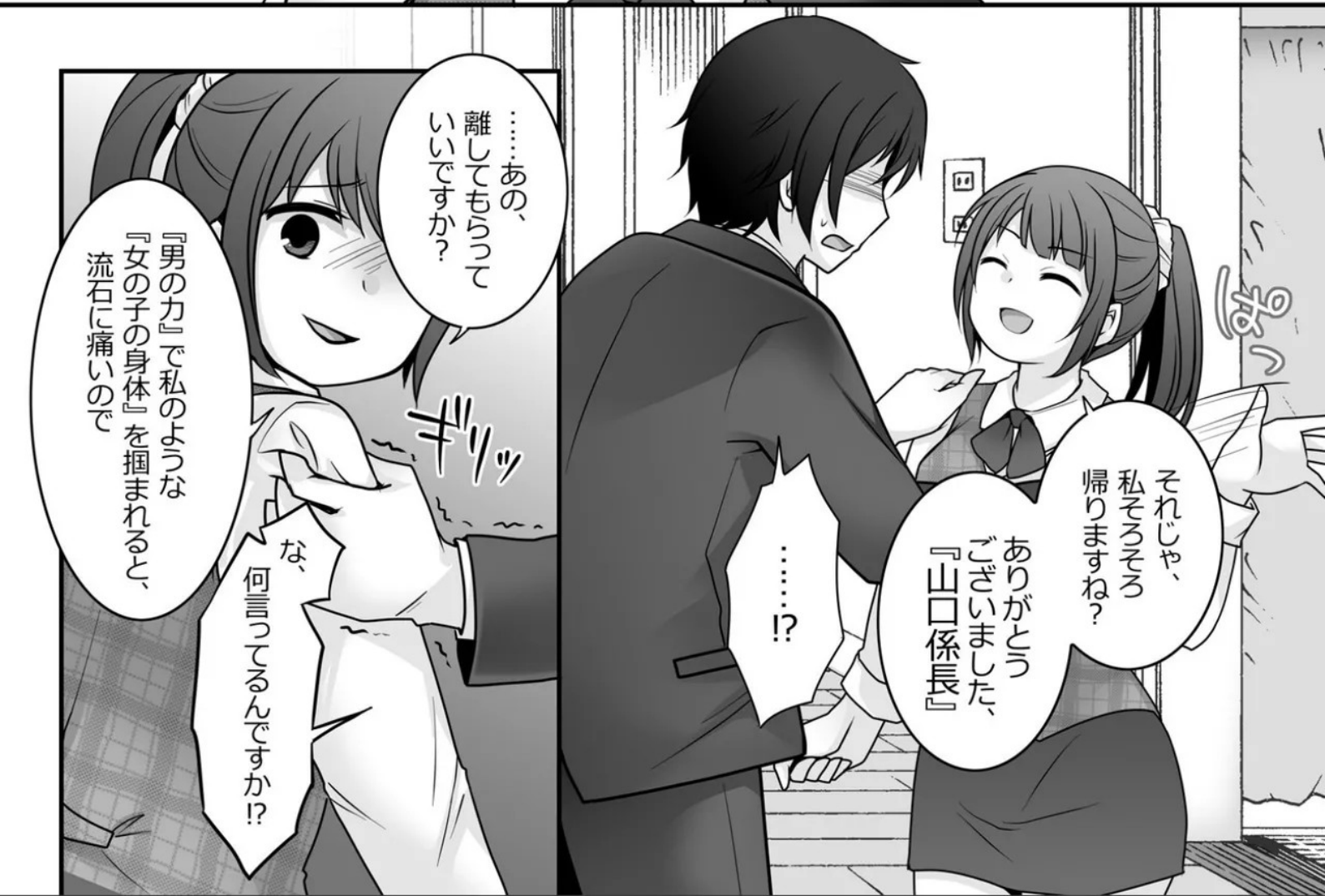
キーン...

なんです……

か……

それより……

ちよつとごつちを
見てくれるかな？







はあ

はあ

俺は、道里、
り……あれ……

見てください
自分の身体

どう見ても
道里凛々花は私で、
あなたは山口墨さん
ですよ？

俺が……
あれ、本当だ……



取り乱して
しまつてすまない、
道里君

どうして自分のことを
道里君だなんて
思ったのか……

もう……係長、
疲れているん
じゃないですか？

……おっと



今のこいつは
身体から記憶を取り込み
全て俺を模倣しているはず

なら、俺が崇明に
抱いている恋心を
消しておかなければ

……係長、
あなたは私にウソが
付けませんよね

……ああ、
ウソが付けない

『私の婚約者』の
賀茂崇明……さんに、
恋しちゃってますよね？
係長

……？
いや、部下として
気に入ってはいるが、
それだけだ……

大友商事



……ではあなたに
好きな人はいないのですか？

俺は、
道里凛々花……
君が好きだ……

どういうことだ、
この暗示でウソは
付けないはず……

……まあいい

？



へえ、係長、
私のことが
好きなんですか？

...まあ、
その通りだ

言われてみれば、
確かに...
俺を見る視線

顔だけじゃない

胸

尻

脚...

「男」が「女」を見る
いやらしい視線...

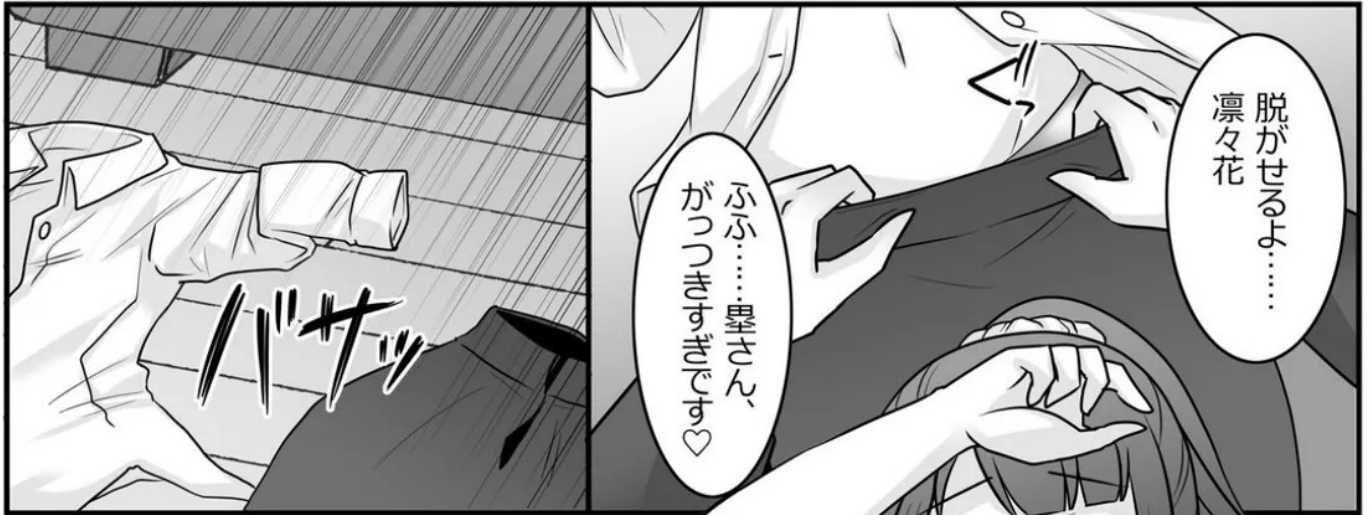
性欲丸出しなのが
バレバレだ

そんなに私のカラダに
興味あるなら...
記念にしてみます？

道里君!?

ねえ、係長...







ズッ

10
ッ

10
ッ

10
ッ

10
ッ

ゼンゼン

っ!?

はあ

はあ

はあ

ズッ

ズッ

はーッ

やべっ、これ

飛ぶっ♡

くっ♡
あ♡

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

あ♡

あ♡

あ♡

はーッ

俺のチンポ、
気持ちいいっ……♡



ああ……
ありがとっな、道里君



……じゃあ、
次お会いする時はまた
元通りのカンケイ
ですからね？ 係長



『おひがーい！ ちゅっ！ ちゅっ！』♡



凛々花、
今日やけにくっつくな

だって♡
崇明と一緒に居られるの
嬉しいんだもん♡

いつも一緒に
いるだろ？

ううん……
今日からは
特別なの♪

温泉
こちら

ああ……
崇明のニオイを
こんな近くで♡

男だった時は俺のほうが
身長高かったのに、
今は俺のほうが小さい♡

にへり













う、うん……

凛々花……
じゃあ、いくよ？

ねえよ
ねえよ



好きな人の
チンポって
こんなにかつ
いいの♡

幸せ感が
びりびりって、
電気みたいに、
身体中に

すげえ……
昨日したのと
全然違う



じゃ、動くよ

うん……
ひっ♡♡♡

あ♡♡
あ♡♡

すごい♡♡♡
崇明が動くごとに
快感が増幅されていく♡♡♡

んっ♡
んっ♡





そうは言っても
前の男の身体とは
違うんですからね？

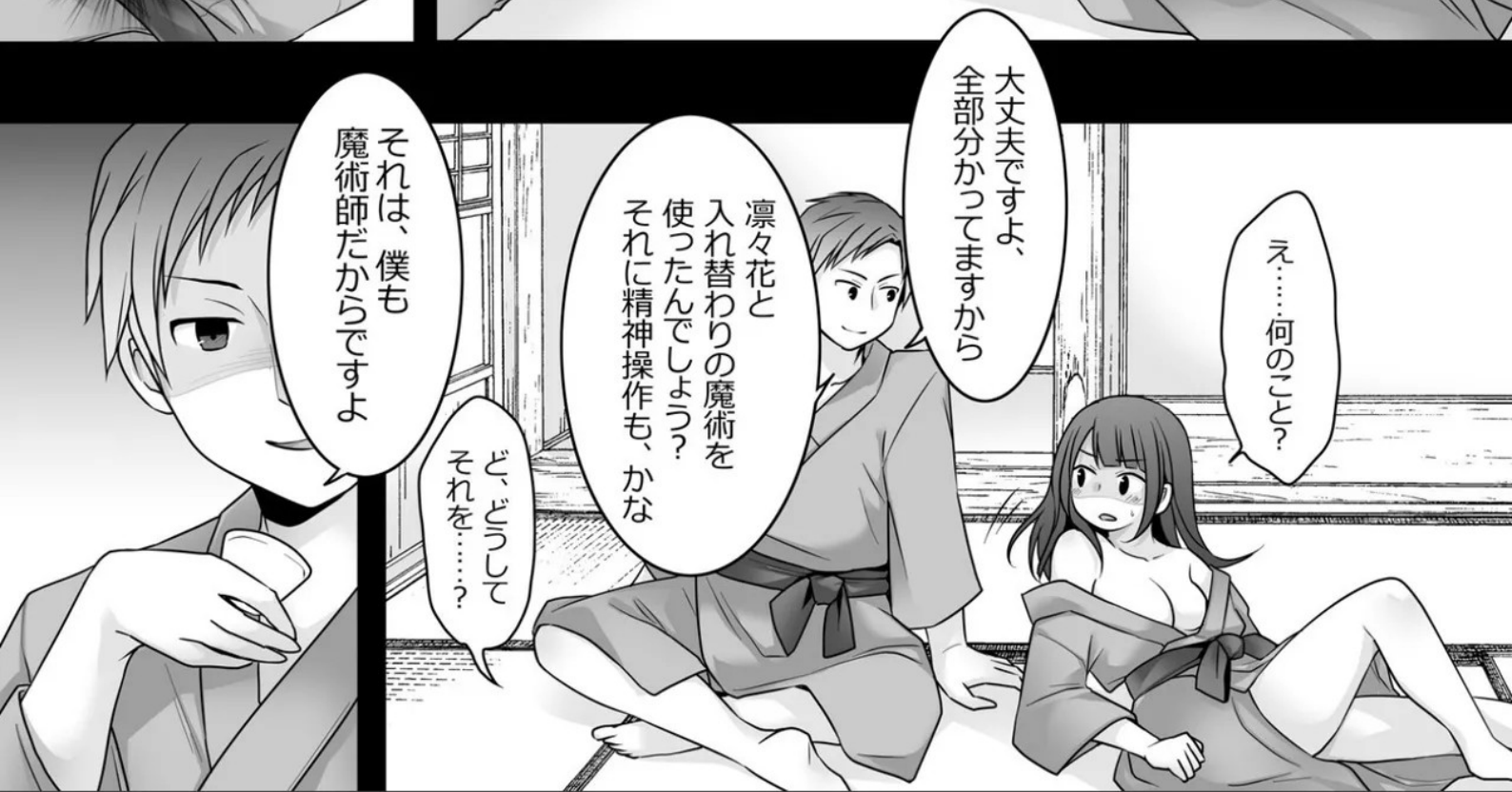
山口係長？



ちよっと酔ってる？

ん〜？
何言ってるんだ、
俺がこのくらいで
酔うわけ……

あゝ
やっぱ温泉のあとの
酒は最高だな！
崇明



大丈夫ですよ、
全部分かってますから

凛々花と
入れ替わりの魔術を
使ったんでしょう？
それに精神操作も、かな

それは、僕も
魔術師だからですよ

ど、どうして
それを……？

え……何のこと？

——つまり、お前の
家系も代々魔術師で、

使える魔法は
“魅了”……

そうです

結構有名な
家系なんです、
その分面倒な
ところもあって――

大友商

魔術師の妻として
ふさわしい『器』を探そうと
この会社に入社したんですよ

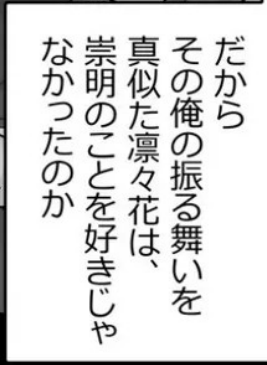
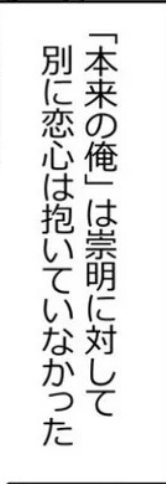
元の凛々花は……
器は素晴らしいものが
あります

一方、山口係長。あなたには
魔術師の血が流れており、
おあつらえ向きに入れ替えの
魔術が使えたとわかった

しかし……
魂には魔術師としての
素養が全くなかった
それでは産まれてくる子供が
魔術を使うことはできない

それで、
俺に魅了の魔術を
かけて……

その通り







ううっ……小さくて
感度のいいチンポ全体を
しゃぶられてるみたいで……

気が狂いそうなくらい
気持ちいいよぉ♡♡

まっ……

またイクっ♡♡



内風呂も広いな……









え、
何回かな……

はあ

ところで
『凛々花』とは
何回くらい
エッチした……？

はあ



のい

も

俺、崇明の
赤ちゃんも早く
産みたいけど

それ以上に
『前の凛々花』に
勝ちたいから

……今まだ
イってないから、
まだイけるよね？



風呂から上がったら、
俺……いや、

んっ……

アタシに崇明の精子
沢山ちょうだい♡



